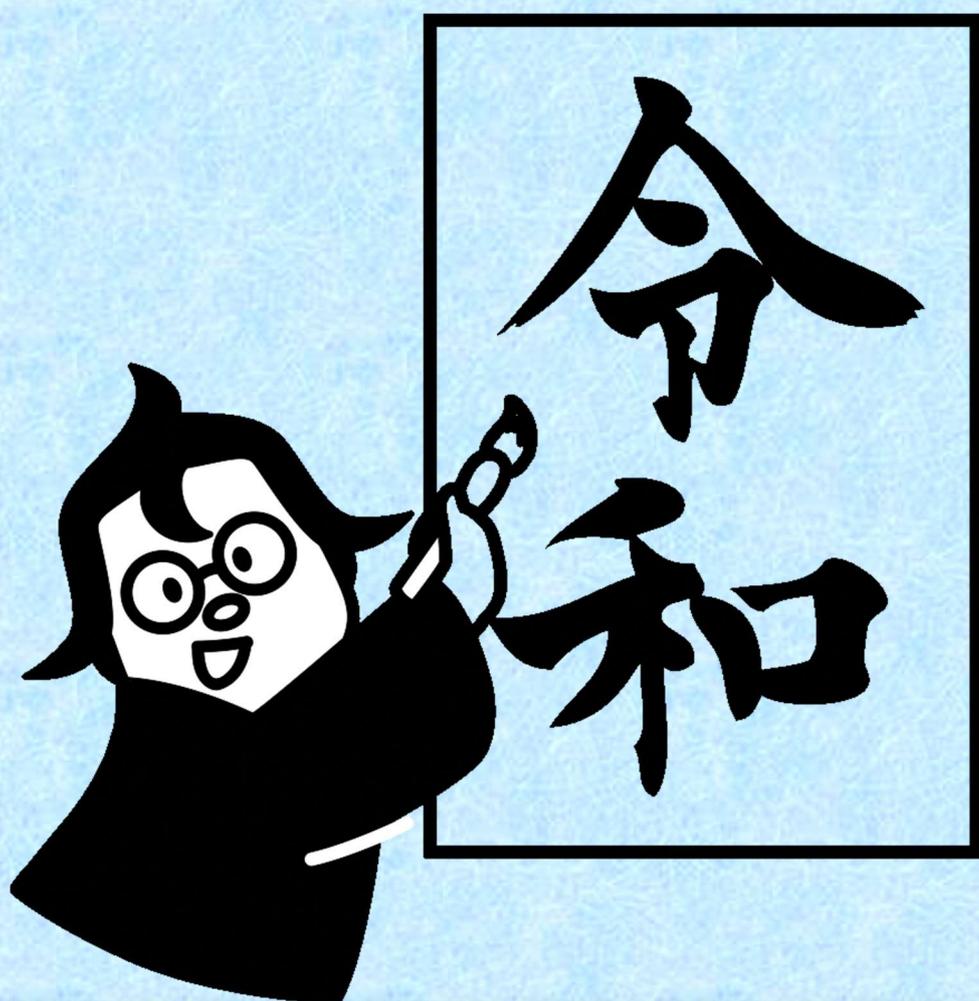


令和四年度
こども未来会議室
報告書



もくじ

はじめに P. 1

こども未来会議室の概要 P. 1

市民団体の紹介 P. 4

皆さんからの提案と市の回答 P. 5

1. 学校（学習）の改善 P. 5

2. 道路や交通の充実 P. 8

3. もっと住みやすいまちに P. 13

4. 船橋をもっと盛り上げよう P. 19

5. もっと環境によいまちに P. 25

実現した主な提案 P. 30

本番の様子 P. 33

はじめに



平成26年度に始まった「こども未来会議室」は、今回で8回目を迎えました。「こども未来会議室」の事前学習で素晴らしい提案を考えてくれた皆さん、また、夏休みの貴重な時間に各校の代表として「こども未来会議室」に参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました。

今回の提案は、地域を活性化させるイベントの提案や、環境負荷の低減に関する提案が多くあり、これからの時代を担う皆さんから、船橋の未来を真剣に思う提案がされたことを嬉しく、また、頼もしく感じています。今回の提案も、どれも新鮮で素晴らしいものばかりでした。

本事業にご理解、ご協力をいただいた各校の先生方、保護者の皆様、そして、1回目から企画と運営に携わっていただいている市民団体の皆様にも、心からお礼を申し上げます。

皆さんからいただいた素晴らしい提案に対して、市としてどのようなことができるのか、市役所の部署のみではなく、関係する様々な団体の方とも真剣に協議を重ねて、この報告書を作成しました。

実現できるかどうか話し合いを続けていく提案や、実現に長い時間がかかる提案もありますが、皆さんの熱い思いはしっかり届いています。若い皆さんがこれからも社会の主人公として、頑張ってくれることを心から期待しています。

中学生の皆さん素晴らしい提案をありがとう!

船橋市長 松戸 徹

こども未来会議室の概要

1. 事業名称

こども未来会議室 ～船橋の未来に“たね”をまこう～

2. 目的

子供たちと市長が船橋の将来を語り合う場を設け、船橋市の現状を子供たちに伝え、まちづくりを意識してもらいながら、将来を見据えた意見交換をすることで、子供たちの視点を活かした市政運営につなげる。

3. 運営

企画及び運営は、4つの市民団体（さざんか募金運動推進協議会、船橋商工会議所青年部、船橋法人会青年部会、船橋青年会議所）と市役所の若手職員で立ち上げた「こども未来会議室プロジェクト」が行いました。

4. 対象学校・対象学年・参加人数

対象学校：市内28中学校（市立27校、私立1校）

対象学年：2年生（金杉台中学校3年生）

参加人数：各校2名

5. 事前学習

「こども未来会議室」の開催前に市立中学校全27校で実施した事前学習は、2年生全員が参加し、船橋市の良いところや問題点などについて話し合いが行われました。

この事前学習では、一人ひとりが船橋の将来についてしっかりと考え、船橋市民であることを自覚し、地域の発展にかかわる意欲を持ってもらうことができたと思います。



飯山満中の事前学習



坪井中の事前学習



行田中の事前学習

6. 実施内容

第1部 テーマに沿った意見発表

「こども未来会議室」のテーマ【「私たちが市長になったら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】について、各校の代表となった2名の生徒が事前学習でまとめた意見を市長に向けて発表しました。

学校ごとに工夫を凝らし、「文化祭を行います！」「給食残飯の有効活用をします！」といった学校生活に関係する提案のほか、「快適な駅づくりを目指します！」「様々なニーズに応えられる学習スペースを導入します！」といった日常生活に関係する提案や、「アンデルセン公園をパワーアップさせます！」「地域活性化イベントをします！」といった地元愛にあふれた提案など、様々な提案が市長に伝えられました。

発表後は各校で意見交換を行い、市長から、提案一つひとつに対して市の現状や今後の取り組みなどについて丁寧に説明がありました。

第2部 市長室見学ツアー

市長室では、市長から、市長室全体の案内や仕事内容、市の様々なことを決定する「決裁」に関する説明などがありました。その後、市長の椅子に座り、市長、船えもん、ばか面と一緒に記念撮影をしました。

代表生徒の皆さんは、市長の説明に熱心に耳を傾けており、市職員でもなかなか入ることのない市長室に興味津々の様子でした。



7. 開催日時

様々な地域の生徒と意見交換ができるよう地域を混合し、4回に分けて開催しました。

開催日	第1回	第2回	第3回	第4回
	8月1日(月)	8月2日(火)	8月4日(木)	8月5日(金)
参加校	海神中	宮本中	船橋中	湊中
	行田中	旭中	若松中	葛飾中
	飯山満中	高根中	二宮中	法田中
	三田中	八木が谷中	七林中	御滝中
	古和釜中	金杉台中	三山中	芝山中
	大穴中	前原中	高根台中	習志野台中
	小室中	(私)千葉日本 大学第一中	坪井中	豊富中
学校数：計28校	7校	7校	7校	7校
生徒数：計56名	14名	14名	14名	14名

■開催時間 13:00～16:30

■開催場所：船橋市職員研修所及び市役所本庁舎9階市長室



第1回



第2回



第3回



第4回

市民団体の紹介

「こども未来会議室」の開催にあたり、
企画から運営まで携わっていただいた
4つの市民団体を紹介します！

さざんか募金運動推進協議会

JR・東武アーバンパークライン船橋駅コンコースにシンボル像「さっちゃん像」があり、皆さんの待ち合わせスポットとして活用されていて、実は募金箱になっています。募金は主に、青少年健全育成のための事業などへの資金援助や、母子・父子家庭の高校生・障害児のための奨学金の給付などに使われています。



船橋市民のシンボル
さざんかちゃん



船橋商工会議所青年部

船橋商工会議所青年部（船橋YEG）は、次代の地域経済を担う後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質向上と日本全国の商工会議所との交流や国際研修事業などを通じ、己の企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としており、各委員会にて様々な事業を展開しています。

私たちは、船橋が本当に好きで、明るい豊かなまちにしたいと考える団体です。

※YEG（若き起業家集団）とは、商工会議所青年部の英語名（Young Entrepreneurs Group）の頭文字をとったもので、商工会議所青年部の持つコンセプト（若さ、情熱、広い視野）を持った経営者＝Youth, Energy, Generalist を表しています。



船橋法人会青年部会

会社を経営するために、切っても切り離せないのが納税です。法人会は、全国に約100万社の会員企業があり、「税」をキーワードに健全な会社経営、経営者育成を目指し、研修会や専門的勉強会、親睦会など税務署や関係諸団体の協力を得て、様々な事業やイベントを開催しています。

その中でも青年部会は、50歳までの経営者や次世代の企業経営者になる若者に、更なるステップアップや、仲間を増やし友情を育むことを目的に掲げて、地域の発展と企業の繁栄を目指し活動している団体です。



船橋青年会議所

船橋青年会議所は、20歳から40歳までの青年が明るい豊かな社会の実現を理想とし、「修練」「奉仕」「友情」の3つの信条のもと、よりよい社会づくりを目指し、ボランティアや行政改革などの社会的課題に積極的に取り組んでいる団体です。

また、国際的な組織でもあり、世界125か国に17万人を超える会員がおり、日本では全国47都道府県698の地域に約3万6千人の会員がいます。40歳で卒業となりますが、卒業されたOBは世界で250万人以上おり、元米国大統領のビル・クリントンさんやマイクロソフト創業者のビル・ゲイツさんなども所属していました。日本では、元内閣総理大臣の小泉純一郎さん、その息子である小泉進次郎さんなども活動していました。

船橋青年会議所では、次代の社会の担い手、推進力として明るい豊かなまちづくりの実現のために、市民運動の先頭に立って活動しています。



皆さんからの提案と市の回答

1. 学校（学習）の改善

様々なニーズに応えられる学習スペースを導入します！



※各提案に対して、SDGsの目標に関連するものを表示しています。

【海神中】

学校では、協働学習を行っているにもかかわらず、学校外の学習施設では、個人学習することが前提の施設が多いため、1人で集中してできる学習スペースのほかに話し合っ勉強できるスペースを導入する提案でした。

〈市の回答〉

船橋市には、26か所の公民館、21か所の児童ホーム、4か所の図書館があります。各施設において、様々な方法で学習スペースをとっています。

〔公民館〕

公民館では、夏休み期間以外にも、ロビーや図書コーナー等を用いて通年（公民館休館日除く）自習スペースを開放しています。

ロビーや一部の部屋では、Wi-Fi環境が整っていますので、パソコンやスマートフォンをお持ちいただければ、学習等にお使いいただけます。

また、一部の公民館では、当日空いている部屋を自習スペースとして貸し出す「空き部屋開放事業」を実施しています。

今後は、「空き部屋開放事業」の実施館を増やしていきながら、自習スペースの存在をより多くの皆さんに知ってもらえるように、学校等にチラシを配布し、周知していきます。

そして若い方々にもっと公民館を使ってもらえるよう、文化祭やこども祭り、青少年向け講座など、皆さんが楽しめるイベントや講座を企画していますので、ぜひ、自習スペースの利用以外でも公民館に足を運んでみてください。

〔児童ホーム〕

児童ホームは遊びの提供を目的とした施設ですが、中高生の皆さんに利用していただくよう、今年から、夏休み期間中に学習スペースを用意しました。施設によって部屋数や面積が異なるため、利用できるスペースに違いはありますが、過半数の児童ホームでは、集中して学習することができる図書室の一面に用意しました。利用した中高生からは、「集中できた」「涼しくてよかった」「静かだった」「友達と一緒にできてよかった」など様々な意見がありました。その後、冬休み期間中にもすべての児童ホームで学習スペースを提供しました。現在、多くの児童ホームで学習スペースを常設しています（21館中17館に設置）。

一人で集中して学習したい、複数人で協働して学習したいという今回のご要望は、今後学習スペースの設置を検討する上で、参考にさせていただきます。

〔図書館〕

図書館では学習コーナーや多目的室をイベント等で使用していない時に開放する等、自習のできるスペースを可能な限り用意しています。Wi-Fi環境も整っています。

しかし、図書館では静かに読書を楽しみたい人も多くいらっしゃいます。会話をしながらグループ学習を行うスペースをつくるには、別の部屋を用意する必要がありますが、各図書館の既にある学習スペース以外には空いたスペースがなく、部屋を用意することがとても難しいのが現状です。

図書館には、調べ物に役立つ本や面白い小説等、たくさんの資料があり、その時に流行っているテーマで本を集めて展示を行っています。また、10代の皆さんからおすすめ本を紹介してもらったり、アンケートに答えてもらったコメントを掲示するコミュニケーションボードといった交流スペースをYA（ヤングアダルト）コーナー（10代のための図書コーナー）に用意し、皆さんの興味を刺激するような工夫も行っていきます。図書館に来たら学習スペースを利用するだけでなく、ぜひたくさんの本にも触れてみてください。

学校を快適な避難所にします！

【八木が谷中】

大きな災害が頻繁に起きていたり、真夏日や猛暑日の日数が近年増えていたりすることから、避難所として使う体育館を快適に使える施設にするため、快適な温度を保てるよう、エアコンを設置するという提案でした。



〈市の回答〉

エアコンの設置については、日々の利用についても検討したなかで考える必要があります。エアコンを全校の体育館に整備するためには、エアコンの設置費用のみで約70億円～80億円と試算しています。

また、船橋市の多くの体育館は鉄骨造となっており、屋根・壁・床・窓の断熱性能が低い構造であることから、空間の効率的な空調のためには、大規模な断熱改修工事が必要となります。それに加えて、設置場所の形状や強度上の問題により、部分的な補強工事も必要となります。

これらも含めて、今の体育館のままでは、エアコン設置には多額の費用が掛かるため、現状での整備は困難と考えています。今後、設置が可能となるかどうかなど、調査・研究を進めていきます。

なお、熱中症対策として早急な対応が求められている中、現段階で対応可能な方法として、各校の体育館等に大型冷風機の設置を検討しています。

災害時、学校の体育館は避難所となりますが、停電してしまった場合でも、太陽光パネルと蓄電池を設置した学校では、太陽光パネルで発電した電気や蓄電池に貯めた電気を、100Vの非常用コンセントから使用することができます。避難された方が少しでも快適に過ごせるように、100Vで利用できる大型冷風機やスポットクーラー、扇風機などの活用を考えています。

文化祭を行います！



【七林中】

現在、船橋市内中学校では、文化祭を行っていない。文化祭を開催することで、地域交流が図れるほか、団結力や考える力、実践力、想像力、自立心、主体性が養われるので、学校で文化祭を開催するという提案でした。

〈市の回答〉

文化祭の実施は、生徒主体で取り組みたいこと、地域の方との関わりなど、人と人との関わりが新型コロナウイルス感染症の影響等で希薄になってきている現状からすると、とても大切なねらいを示しています。文化祭は生徒会が中心となり生徒会担当の先生及び学校と相談しながら、全校生徒につなげていく必要があります。発表内容にもありましたが、まず文化祭のねらいがとても重要です。文化祭のねらいが、生徒の思いや願いを生かしたものであり、レクリエーションやバザーなどと同様にならないようにすることが必要です。

次に内容についてです。交流する対象によって内容も変わってきます。

地域の方との関わりが目的であれば、資料の例示にもありましたが、地元の特産物や特色等を総合的な学習の時間などで探究したり、特別な教科道徳の時間やキャリア教育としてマナーや礼儀、地域で行っている仕事などに着目した内容を発表したりするなど、学習したことや学習していることを活かした内容で考察していくことが考えられます。また、全校での活動となるので、内容が重ならないようにするなど検討が必要です。

最後に実施期間についてです。文化祭の実施期間については、準備や発表、振り返りまでの期間が必要となります。学校の行事や地域の特色などを含め、中学校で学習しなければならないものに影響がでないような期間及び日程で学校と相談していく必要があります。

いろいろな課題がありますが、生徒自らが考え、仲間たちと話し合い、協力して物事に取り組むことは非常に大切です。生徒会や学校に相談してみましょう。

2.道路や交通の充実

交通事故をゼロにします！



【前原中、豊富中、芝山中】

冬の下校時間や塾などの帰り道は、暗く死角が多い。また、道路の凹凸や街灯・ガードレールのない道など事故の危険性の高い道が存在する。このことから、安全な道路にするため、LEDの街灯の増設やガードレール、カーブミラーなどを設置するという提案でした。

〈市の回答〉

〔照明施設〕

まちを明るく照らしている照明施設は、「道路照明灯」、「防犯灯」、「商店街街路灯」の3種類あり、用途によって設置者が違います。

① 道路の安全のための「道路照明灯」

夜間の道路交通の安全を図ることを目的とした道路照明灯は、船橋市内の主要な道路や公共施設に面した道路などに約2,600基あり、市が設置しています。

過去の「こども未来会議室」で“船橋のまちを明るくしてほしい”との提案を受け設立した「道路照明灯設置に関するプロジェクトチーム」にて、「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」を策定し、道路照明灯・道路街路灯の設置に関するルール作りを行い、夜間交通の安全性向上を図っています。

普段生活している中で、危険や不安と感じる箇所がありましたら、相談してください。現地調査を行い、設置について検討していきます。

② 街の防犯のための「防犯灯」

市内には約41,700灯の防犯灯が設置されていますが、その設置や維持管理は、地域の状況をよく知っている町会・自治会に行っていていただき、市では補助金制度を設けてその活動を支援しています。

平成26年度から、消費電力が少なく環境にもやさしいLED灯を設置する際の補助率や補助限度額を引き上げたことにより、防犯灯のLED化が進み、地域の方から、以前よりも明るくなったとの声も寄せられています。

今後も防犯灯のLED化による灯具の交換を促進するよう働きかけながら、市民の皆様から暗い場所の指摘があった際には、町会・自治会と相談し、適切な設置をお願いしていきます。

③ 商店街を明るく照らす「商店街街路灯」

明るい魅力ある商店街環境を作り、商店街の販売促進と消費者の利便を図るため、商店会が設置しています。市では、商店街街路灯の電球交換や整備を行う際に補助金による支援をしています。

なお、街路灯がLED化されていない商店街に対しては、令和4年度に限り補助額を上げることで、早期のLED化を積極的に促しています。

〔ガードレール〕

ガードレールについては、普段生活している中で、危険や不安と感じる箇所がありましたら、相談してください。現地調査を行い、設置について検討していきます。

しかし、道路にガードレールを設置するためには、歩行者スペースを含め一定以上の道路の幅が必要となり、道路を広げるためには、道路沿いの住民の方に用地を提供していただくように協力を求めなければならない、すぐには対応が難しい場合が多くあります。

そのため、毎年、小学校、地域の方、市と共同で通学路の安全点検を年10校程度順番に実施して、道路を広げることができない場合でも、歩行空間を明らかにするため、道路に赤いゴム製のポールを立てたり、緑色の帯状のカラー舗装をするなどの安全対策を行っています。

〔カーブミラー〕

カーブミラーについては、設置を要望する場所がありましたら、相談してください。現地調査を行い、交差点やカーブで見通しが確保出来ないと判断した場合、カーブミラーを設置しています。

設置する場所が確保できない時などは、別の安全対策として、注意看板の設置や路面標示で注意喚起を行います。

〔道路の段差・凹凸の解消〕

直して欲しい箇所がありましたら、連絡してください。現地調査を行い、必要な箇所について修繕を行います。

これまで、道路に段差や穴などを見つけた時は、メールや電話で通報を受け付けていましたが、場所や損傷状況などを詳細に把握することが困難でした。新たに開始したLINEの「船橋市道路損傷通報システム」(※1)では、損傷状況の写真を添付できたり、位置情報を正確に把握できるため、迅速な初期対応・安全確保につながりますので利用してみてください。



※1 このコードを読み取り、友だち追加することで、利用できます。

〔水はけのよい舗装〕

歩道には透水性アスファルト舗装、車道には排水性舗装といった道路の表面に雨水が溜まらない舗装を、歩道の整備や都市計画道路(※2)などの幹線道路(※3)の整備の際に採用しています。

※2 都市計画道路・・・安心して安全な市民生活と機能的な都市活動を確保するため、計画的なまちづくりの一環として整備する道路

※3 幹線道路・・・国道や県道などの主要な地点を結ぶ、市内の骨格的な道路

〔自転車ライト〕

ライトの配布については、自転車販売店等で販売している自転車には、概ねライトが標準装備されていますので、市で改めて配布することは考えていません。点灯しない場合には、交換や修理をしてください。

次に、自転車利用者へのライト点灯の呼びかけについては、自転車の安全利用ルール「ちばサイクル

ール」で、暗くなる前の早めのライト点灯をルール化しています。市では、幼児や小中学生への交通安全教室、交通安全運動など、警察等と連携した街頭キャンペーン等で周知しています。また、点灯時間の指定については、自転車を利用する方一人ひとりが自身で判断していただくことが大切であると考えていますので、時間を指定するのではなく、夕暮れ時からの早めのライト点灯を呼びかけていきます。

【ちなみに…】

他にも市では、生活道路における人優先の安全・安心な通行を確保するために警察と連携し、「ゾーン30」、「ゾーン30プラス」を整備しています。「ゾーン30」は、定められた区域（ゾーン）の車両の最高速度を時速30キロに規制するもので、これまでに市内26地区を整備しています。令和4年3月には「ゾーン30」に加え、車両の通行部分の幅を狭める“狭さく”などの物理的デバイスを組み合わせた「ゾーン30プラス」の整備を古作地区に県内で初めて導入しました。令和4年度は、新たに2地区の「ゾーン30プラス」の整備をしています。

今後も警察と連携を行いながら、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進していきます。

「ゾーン30プラス」整備事例



区域の入り口部には、標識、看板のほか、路面に「ゾーン30プラス」と表示されています。

電動キックボードのシェアサービスを実施します！



【小室中】

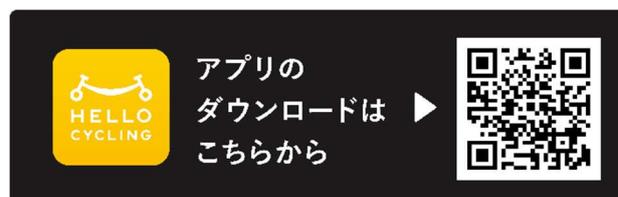
船橋市は鉄道9路線35駅と交通機関が充実したまちである一方、北部地域では路線が少なく、電車で移動すると時間を要し、不便な点がある。主要な駅や観光スポットに電動キックボードのシェアサービスを設置し利便性を高め、人口や観光客の増加を図るという提案でした。

〈市の回答〉

電動キックボードは気軽に短い距離を移動する交通手段として、既に流山市や千葉市で導入されています。電動キックボードを始めとするモビリティシェアサービスの導入は、**回遊性**（※1）の向上等さまざまな効果があると認識しています。

また、令和4年度から交通の混雑緩和、環境への負荷の低減、健康増進などの効果が期待できる「**船橋市シェアサイクル事業**」（※2）を試験的に実施しています。本事業の検証を行いながら、回遊性の創出に向け、電動キックボードも含めた新たな移動手段やどんな環境整備が必要なのか検討していきます。

- ※1 回遊性・・・買い物客が、店舗内や商店街を歩き回ること。
いろいろなところに移動すること。



※2 シェアサイクルは、専用のサイクルポート（駐輪場）が設置されている場所であれば、どこでも自転車を借りて、返すことができるサービスです。

中学生料金を導入し、公共交通機関を活性化させます！



【旭中】

公共交通機関を利用する際、中学生は大人料金に組み込まれていることから、習い事などで利用する際に負担となる。公共交通機関の運賃に中学生料金を設定することで、利用者の増加や渋滞の軽減につながるという提案でした。

〈市の回答〉

公共交通機関の収入は、少子高齢化が進むことにより利用者の減少が予想され、事業収入も減少すると予想されます。このため事業者の採算性を考えると中学生料金の導入は難しいと思います。船橋市では、公共交通事業者や市民の代表の方などが集まり協議する場である「船橋市地域公共交通活性化協議会」(※)があり、その中のワーキンググループで皆さんの意見を議題として話し合っています。

→
※協議会では、バスや鉄道路線図などが載った「公共交通マップ」を作成しています。



快適な駅をつくります！



【若松中】

駅利用者の増加が見込まれることから、ホームドアや待合室、使いやすい快適なトイレの設置についての提案でした。

〈市の回答〉

鉄道事業者は線路への転落事故を防ぐためホームドアの整備を進めています。このことを受けて市ではホームドアなどを多くの駅に設置してもらえるよう、鉄道事業者に対して支援金を支出していますので、引き続き支援していきます。

現状として、転落防止の点字ブロックは、市内にある35駅全てに設置済みですが、ホームドアを設置済みの駅はJR下総中山駅、東武線船橋駅、JR西船橋駅総武線各駅停車ホームです。

快適なトイレや待合室の設置は鉄道を利用する皆さんの利便性や快適性の向上につながり、利用される市民の皆さんのみでなく、多くの来訪者をお迎えするのにも大切だと思いますので、鉄道事業者にお願いしていきます。

3.もっと住みやすいまちに

アンデルセン公園をパワーアップさせます！



【宮本中、豊富中】

千葉県の人気スポットであり、船橋の魅力の一つであるアンデルセン公園に、涼しく快適に過ごせるようにミストや屋根付きのベンチを増設したり、自然や食の大切さに触れることができるSDGsコースなどの大人の楽しめるツアーを作ったり、中学生以下に無料パスポートを配布するなどのパワーアップを図る提案でした。

〈市の回答〉

アンデルセン公園は、世界最大級の旅行口コミサイトの「トリップアドバイザー」で、「2015年日本の人気テーマパーク」の第3位になったことを契機に、この人気を維持するため、毎週土・日曜日や祝日にはさまざまなイベントを実施しています。特にイベントドームでの「キャラクターショー、アンデルセン童話歌劇、ファイヤージャグリングショーやアクロバット&モンスターボックスショー」などは、人気が高く、提案いただいた同等の内容のイベントを実施していると考えていますが、さらなる拡大に向けて考えていきます。また、園内には、夏の暑い日でも快適に過ごせるように、ミストを3か所、屋根付きベンチを2か所設置しています。皆さんと同じように、アンデルセン公園をパワーアップさせたいと思っていますので、今後もいろいろな提案をお聞かせください。パワーアップに向けてアンテナを高くし、時代のニーズに合った事業を実施できるよう努めていきます。

また、パスポートの無料化については、現在、年間パスポートを小中学生は1,000円（船橋市民：800円）、大人は3,000円（船橋市民：2,000円）で販売していますが、様々な必要なサービスの提供を含め、一定水準の施設管理を維持していくために必要な財源と考えています。また、利用者のアンケート結果からも、料金は妥当なものとしてご理解をいただいていると考えています。

今後も皆さんが快適に園内で過ごせるよう、サービス向上に努めるとともに、子供から大人まで楽しめる公園として、イベントの充実や施設の整備などを進めていきます。



実際のイベントの様子

＜イベントの提案に関するお問い合わせ先＞

都市整備部公園緑地課 TEL：047-436-2552

E-mail：kouen@city.funabashi.lg.jp

公園をより快適にします！



【二宮中、豊富中】

身近に利用している公園には、樹木が鬱蒼と伸びていたり、トイレが汚れていたり、遊具などの施設が老朽化しているイメージがある。そのため、施設の整備やトイレのF I T化（船橋・イノベート・トイレット）することで、清潔なトイレを利用できるのではないかとという提案でした。

〈市の回答〉

公園内の施設の整備については、毎年すべての公園を点検し、老朽化したものから計画的に整備しています。今年度も、公園の中の遊具やトイレ、樹木などの施設を新たに整備し、また、必要な箇所での修繕を実施しました。今後も計画的に整備や修繕をしていきます。

公共施設のトイレの設置は、近隣にお住まいの方々のご理解が必要であり、その結果として、目立ちにくい場所に設置しているところもあります。

また、トイレを清潔に保つためには、清掃の回数を増やすことも一つの方法ですが、公園のトイレの利用の際に、利用方法やマナーなど、清潔を保つための施策として、掲示物による周知と併せて、利用者及び地域の皆さんのご協力が不可欠と考えています。

船橋市では、今後もトイレの清掃、修繕やバリアフリーに対応したトイレの設置を行い、皆さんが気持ちよく利用できるよう努めていきます。

また、ご利用いただいた皆さんにも、次に使われる方が気持ちよくご利用いただけるよう、ご協力をお願いします。

老朽化した遊具を修繕した実例



工事前



工事後

医療助成受給制度を改善します！



【前原中】

医療助成受給制度（中学3年生までの入院、通院、診断が300円で受け入れられる制度）の改善案として、高校生まで対象にすることや交通事故などでけがをした場合も対象にするという提案でした。

〈市の回答〉

船橋市子ども医療費助成制度では、中学3年生までの入院1日、通院1回を300円、調剤を無料で受けられるよう助成しています。

千葉県が行っている補助対象が現在の小学校3年生まで（なお、これは外来診療の場合で、入院しての診療の場合は中学3年生までです）となっていますので、補助対象の年齢を引き上げてもらえるよう要望しています。また、国の制度となるよう、国にも要望しています。

なお、対象となる年齢を高校生まで対象とすることについては、令和5年度より実施することを議会に提案しています。

また、交通事故も対象とすることですが、例えば自転車にぶつかったり、誰かに殴られたりしてけがをしたなど、相手方（第三者）の行為により、けがをし、治療を受けた時の医療費については、助成対象とはなっていません。これは誰かに損害を与えた場合、その人が相手に対し、その損害を補償すべきであると考えられているからです。子ども医療費助成制度は、子供の医療費を支払う保護者の負担を軽減するものであり、本来支払うべき人の分まで負担すべきではないと考えます。

【ちなみに…】

自転車の交通事故については「千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の改正により、令和4年7月1日から、千葉県内で自転車を利用する人に対して自転車損害賠償保険等（以下、自転車保険）への加入が義務化されました。

万が一の事故で賠償金を支払うことになった場合に備えて自転車保険に加入するよう、家族の皆さんと今一度話してみてください。

出産した方に商品券を配布します！



【湊中】

子育て支援として、出産された全ての市民に船橋市内で使える10万円分の商品券を配布し、市内の経済の活性化、人口増加や税収の増加につなげ、公共サービスの充実を図るという提案でした。

〈市の回答〉

船橋市では、①心配ごと等を把握し、不安の軽減に努め、安心して出産していただけるように妊婦さん全員との面接、②妊婦さんとその家族を対象に、出産後の赤ちゃんの対応（着替え、おむつ交換、沐浴）等の紹介や子育て情報等の提供、③産後に家族等からの支援が得られず心身の不調や育児不安がある方に対して、医療機関のベッドやお部屋を活用して心身のケアや育児のサポート等の支援を行っています。

提案のありました商品券の配布は、国の財源支援もあり妊娠・子育て家庭を支援する「出産・子育て応援ギフト」として、妊婦さん1人につき5万円相当・生まれた子ども1人につき5万円相当の計10万円相当分の支給を行うことになりました。国の施策と連携し今後もより良い子育て支援サービスを提供できるように努めていきます。

子供が遊べる施設を作ります！



【湊中】

飲食やテレビゲームなどが可能な自由度の高い安全な屋内施設をつくる提案でした。

また、実現するための予算や対策について（運営費等を税金のほか利用者の募金で賄ったり、利用するごとの支払いではなく、月額制にすることで、資金が確保しやすくなるなど）提案してくれました。

〈市の回答〉

〔児童ホーム〕

船橋市には18歳未満の子供が誰でも自由に遊べる児童ホームが県内最多となる21施設あります。児童ホームは屋根付きの公園のような存在で、保育士や教諭、社会福祉士などの資格を持つ遊びを指導する専門の職員を配置しています。また、子供の主体的な活動を支援しながら、地域に根差した安心・安全な居場所として機能しています。施設の運営には一定の決まりごとがありますが、来館する中高生の要望を取り入れた事業の実施も行っています。例えば、中高生専用には体育室を使える時間帯を定期的に設けて自分たちの好きなボール遊びができる児童ホームや、中高生ボランティアが自分たちでイベントを企画して実施している児童ホームもあります。なお、児童ホームでは現在、飲食やテレビゲームはできませんが、他の自治体の事例を調べて研究していきたいと考えています。これからも、子供の居場所として児童ホームを充実させていきたいと考えていますので、ぜひ皆さん遊びに来てください。

【前原児童ホーム「中高生タイム」】

月1回程度、土曜日または日曜日の16時から17時までの時間帯について体育室を中高生に貸し出し、バスケットボールなど自分たちで考えた好きな遊びを提供しています。

〔公民館〕

公民館は社会教育法に基づく「社会教育施設」といいます。社会教育を推進することを目的に設置された施設であるため、純粋にテレビゲームといった「遊び」だけを目的とした利用が難しいのが現状です。

ただし、公民館は、社会教育・生涯学習の場であると同時に、仲間づくりや地域の交流の場でもありますので、中学生の皆さんにも気軽に立ち寄っていただきたいと思います。

また、公民館では、子供向けの事業や、ダンスや空手など子供が習えるサークル活動があるほか、図書室や自習スペースなどで放課後の時間を過ごすこともできるので、ぜひ活用してみてください。

休日には子供たちが集って公民館が賑やかになる、そんな光景は公民館としてもとても嬉しいことです。子供たちにとって気軽に集える地域の居場所となれるよう、今後もできる限り利用基準の見直しや事業等の企画を行っていきます。

船橋市北部地域を開発し活性化させます！



【金杉台中、豊富中】

船橋市北部地域を活性化するために、来年度廃校となる金杉台中学校をショッピングモールにしたり、アンデルセン公園付近に駅を建設したり、耕作放棄地や空き地を住宅街や商業施設に整備することで、子育てがしやすいまちづくりにするという提案でした。

〈市の回答〉

金杉台中学校がある地域は「第一種中高層住居専用地域」と呼ばれる地域となります。この地域は良好な住居の環境の保護または形成を図る地域であり、この地域に建てられる建築物は建築基準法により制限を受けることとなります。具体的には住宅や学校、福祉施設は基本的に建築することができますが、大型の店舗やボウリング場のような施設は建築することができない地域になるため、提案のあった学校をショッピングモールに転用することは、残念ながら難しいというのが現状です。少子高齢化問題については、船橋市としても検討していかなくてはならない課題であり、その解決の手段として廃校を活用しようというアイデアは、素晴らしい着眼点だと思いますので、今後の参考にしていきます。

豊富の周辺は、都市計画（まちづくり）のルール上「市街化調整区域」という開発を抑え、現在の緑豊かな環境を守っていく地域となっており、あわせて農業に関する土地利用が図られる地域である「農業振興地域」というエリアとなっています。これらの位置づけは、地域住民の意見だけでなく、まちづくりや農業の専門家などに意見を伺って決めていますので、簡単に変更できるものではありません。ですから今回提案してくれた新駅を中心とした大規模な住宅地や商業施設を新たにアンデルセン公園付近につくることは、多大な整備費が必要なことも踏まえると現時点では難しいと考えています。ただし、もう少し先の未来の話にはなりますが、北千葉道路という首都圏と成田空港を最短で結ぶ幹線道路のインターチェンジが小室付近にできる計画があり、新たな産業の需要が生まれやすくなることによって、新たなまちづくりの動きが高まるかもしれません。その時には、状況を見ながら、地域住民の皆さんや専門家の方々と新たなまちづくりについて一緒に検討していきたいと考えています。

また、市では北部地域に限らず耕作放棄地が発生しています。これは農家の高齢化や後継者不足などが原因と考えられ、すぐに解決することは難しい問題です。

現在具体的な対策として、耕作放棄地や今後耕作放棄される可能性のある農地について、貸し付け・借り受けのマッチング促進に取り組みながら、耕作されない農地を活用できる方法について検討しています。

4.船橋をもっと盛り上げよう

地域活性化イベントを行います！



【三山中、行田中】

船橋には、2月の千人の音楽祭や7月のふなばし市民まつりのように、冬の大きなイベント（「船橋アンデルセン公園マラソン大会」、「船橋の特産品を使ったイベント」など）を企画し、一年中、船橋市が賑わうようにしたいという提案でした。

〈市の回答〉

〔地域活性化イベント（ふなばしアンデルセン公園マラソン大会）〕

ふなばしアンデルセン公園でマラソン大会を開催することができれば、船橋市の魅力をより多くの皆さんに知っていただける、とても良い機会になると思います。

現在、市内でマラソン・駅伝大会を開催するために、船橋市マラソン・駅伝実行委員会を組織し、競技運営全般を決定していますので、ふなばしアンデルセン公園でのマラソン大会の実現の可能性について、検討していきたいと思います。

また、船橋の名産品を使ったグルメフェス「ふなフェス」とマラソン大会とのタイアップについて前向きに協議していきたいと思います。

「ふなフェス」についてですが、農水産事業者や商業事業者などが連携し、年に4回「ふなばし朝市」というイベントが開催されていて、そこには船橋産の食品等を扱う事業者も出店しています。マラソン大会とふなフェスを開催する際は、ふなばし朝市の出店事業者に参加してもらうよう呼びかけてみます。また、ふなばし朝市の出張開催などが可能か朝市の窓口となっている一般社団法人船橋市観光協会へ相談してみます。

イベント開催にあたっては、ボランティアが実施体制の一部を担っていただける可能性がありますので、市内の市民活動団体への協力を呼びかけていきます。

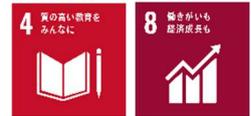
〔船橋の特産品を使ったイベント〕

冬の時期にも市内では様々なイベントが開催されています。「ふなばし朝市」は、12月にも実施しており、その時期の船橋産の食材等を扱う事業者も出店しています。そのほか市内では、船橋漁港の朝市や、焼き肉やまとの朝市、ふなっこ畑の朝市など、各事業者や市民の皆さんによるイベントも多数開催されていて、実際にふなばし朝市とその他のイベントを同日開催することで、より多くの来場者に楽しんでもらえる工夫も行っています。ぜひ皆さん遊びに来てください。



ふなばし朝市の様子

商店街復興イベントを行います！



【法田中】

昔ながらの商店街が人通りも少なく、閉店した店が増えていることから、①フォトスポット②ゆるキャラコラボカフェ③ベルマークイベント④歴史パンフレットやポスターの作成⑤空き店舗を利用した自習スペースの設置を行い商店街の復興及び地域の活性化を図るという提案でした。

〈市の回答〉

〔フォトスポット・ゆるキャラコラボカフェ・ベルマークイベント・歴史パンフレットやポスターについて〕

船橋市では、賑わい創出のために実施するイベントやイルミネーション、新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるための取り組みを実施している商店会に補助金を交付しています。令和3年度は、9つの商店会より申請がありました。

提案のあった船橋市に関わるフォトスポットの設置やベルマークを回収するイベントは、賑わい創出にとっても有効的だと思います。

また、ゆるキャラのコラボカフェで「船えもん」をメンバーに考えてくれてありがとうございます。

商店会がイベントの一環でフォトスポットの設置やゆるキャライベント、ベルマークイベントを開催した時も、市の補助対象となります。実際にフォトスポットを設置している商店会もあります。

ただし、ベルマークと引き換えとなるグッズや梨の費用を誰が負担するのかが課題になり、商店会の皆さんによる検討が必要となります。

商店会がイベントの一環で船橋の歴史のパンフレットやポスターを作る場合も同様に市の補助対象となります。地域の歴史のパンフレットやポスターを作成する際、古写真や資料を提供する等、作成に市が協力することもできます。

〔自習スペース〕

自習スペースを設置することで、学生など若い世代の皆さんを商店街に呼び込むというアイデアは良いと思います。

市では空き店舗を活用して新しく事業を始める事業者に対し、補助金による支援をしているので、自習スペースについても補助対象になり得ます。商店街で自習スペースを開設する事業者がいるかどうかは課題です。

皆さんの提案は、船橋市商店会連合会や船橋商工会議所などに紹介したいと思います。



船橋駅周辺のイルミネーション
(フォトスポット)

特産品をもっと有名にします！



【御滝中、千葉日本大学第一中、高根中】

船橋の特産品をもっと有名にするために、学校給食に取り入れたり、レシピを提案、コンビニでの商品化することで船橋を多くの人に知ってもらおうという提案でした。

〈市の回答〉

〔小松菜などの特産品を使った商品をコンビニで販売しPRします〕

出荷量や作付け面積については千葉市に及びませんが、西船橋を中心に出荷されている束ねの小松菜は都内の市場でも品質管理で高い評価をいただいております、千葉市に負けないブランド力を誇っています。



束ねの小松菜

また、消費拡大の為、小松菜パウダーにより小松菜を麺に練りこんだラーメン、小松菜を生地に使用したピッツァなど、船橋市内の様々なお店で商品開発されています。

提案いただいた商品については農業協同組合などの関係機関と情報共有し、実現可能か相談します。

船橋市を代表する特産品として認証を受けた「ふなばしセレクション認証品」(※)が、市内のセブンイレブン4店舗及びファミリーマート25店舗にて、すでに販売されています。市の特産品をより多くの人に知ってもらうため、より一層「ふなばしセレクション認証品」のPRに力を入れていきます。

※ふなばしセレクション認証品・・・ふなばし産品ブランド協議会が市内の優良な商品を広く募集



し、厳正な審査を経て認証された商品です。令和元年度は、10品の加工食品を認証しました。認証期間は3年間で、市では、チラシなどのPRや販売機会の提供などを通じて、ブランド化を支援しています。

〔SNS等で情報発信〕

令和元年度から市内の小学校へ市内の特産である農産物を提供し、給食を通じて地元の特産を知ってもらう取り組みをしていますので、提供日に放送等で全生徒に周知してもらう事で大きなPRに繋がると考えています。

特産品のPRにSNSを活用していますので、今後も多くの人に特産品を知ってもらえるようPRしていきます。

〔学校給食で紹介〕

現在、市では学校給食における船橋産食材の積極的な活用を進めています。特に、農産物13品目、水産物3品目の船橋産食材については月に一回以上「船橋産の旬の食材を食べて知る日」を実施し、学校給食で提供しています。その際、一口メモや食育だより、放送等で船橋産食材についての情報発信や

ランチルームへ向かう廊下の掲示物を通して紹介している学校もあります。

また、生産者をゲストティーチャーとして学校に招いて授業を行ったり、船橋産米の動画を作成したりして、生徒の皆さんに興味関心を持ってもらえるように取り組んでいます。

各学校では、皆さんに船橋産食材を身近に感じてもらい、学校給食を楽しんでもらえるよう「生徒発信のアイデア」の提案をお待ちしています。

船橋産米の動画



YouTube 動画



360° VR の YouTube 動画

「ごちそう探検隊苗の成長を調査する！」

〔マスコットキャラクターの作成〕



ふなばしセレクション
PR キャラクター
目利き番頭 船えもん

マスコットキャラクターは浸透するのに時間と費用がかかり、一朝一夕に作れるものではありません。また、既に小松菜では「西船なな姫ちゃん」がいます。また、船橋特産の農水産物等を使用した加工食品を厳選な審査により認証した「ふなばしセレクション認証品」のPRをするためのキャラクター「目利き番頭 船えもん」がいます。ふなばしセレクション認証品の中には、ふなばし人参を使用した人参ドレッシングもあり、船えもんがPRしています。

【ちなみに…】

ふなばしセレクション認証品のほかにも、次の農水産物が各ブランドの認定を受けています。

- 地域団体商標・・・「船橋にんじん」「船橋のなし」
- 千葉ブランド水産物認定品・・・「江戸前船橋瞬べすずき」、「三番瀬ホンビノス貝」
- 本場の本物・・・「船橋三番瀬海苔」

企業と人を活性化させます！



【飯山満中】

SDGs 体験施設「ふなパーク」(企業が地域の人たちと関わりを持ったり、体験をすることができる「SDGs 体験型施設」と自分の意見を発信したり、情報共有できる「みんなの広場」)を交通アクセスのよい小室駅周辺に造ることで、北側の地域の活性化を図るという提案でした。

〈市の回答〉

SDGs に取り組んでいる企業と地域住民を結びつけていくことが企業と人の活性化に繋がるといふ着眼点は素晴らしいと思います。また、小室駅周辺の地域を活用するという点も、船橋市をさらに活気あるまちに繋げる魅力的な要素であると考えます。

市のまちづくりの基本的な考え方を示している「船橋市都市計画マスタープラン」でも、「小室や坪井などの駅周辺地区における市街地の環境改善や、ゆとりある質の高い新市街地を整備して、緑の環境に囲まれたふるさとのまちを目指します」としており、この方向性にも近い内容であると思います。

しかし、まちづくりや建築に関する法令の決まりにより、施設を整備できる場所と整備が困難な場所があり、対象地は後者にあたり場所や規模の制約があります。また、新たな事業を行うためには、有効性・採算性などの様々な要因をあらかじめ慎重に検討する必要があります。

ふなパークの設置は現状難しいと考えていますが、ふなパークの設置の目的の一つである「SDGs を通じた、事業者や地域住民の活発な交流」の創出については、既存の資源を用いることで実現が可能であると考えています。

例えば、既存の公共施設などを使用したSDGs に関する講演会などを、市民の皆さんを参加対象にして実施すれば、SDGs を知るきっかけ作りができます。

この講演会はSDGs への取り組みを積極的に行っている事業者を講師として呼び出すことができれば、実際に現場で活躍している生の声を市民の皆さんに届けられる貴重な機会となり、皆さんもその事業者の取り組みを知ることができます。

市の環境をより良いものとするために策定した「第3次環境基本計画」の基本施策14「船橋の環境を育む「つながり」づくり」にて、『環境保全活動は、一人ひとりの取組のみならず、市民・事業者・大学等・行政などの各主体相互の連携・協力の下で取り組むことによって、相乗的な効果を発揮される』としています。その取り組みの一つとして、市民、事業者及び行政それぞれが、環境意識を高めることなどを目的に、毎年6月に「ふなばし環境フェア」を開催しています。企画、準備の段階から市内の環境団体・事業者・学校等が関わりSDGs に関連したパネル展示や工作体験を行っています。今後は、市民・事業者・大学等・行政が交流を通じ充実したパートナーシップをさらに構築できるよう取り組んでいきます。

まずは、地域社会の形成・発展のために、市と連携・協力している事業者等と、市民や事業者を対象としたSDGs に関する講演会などを実施し、SDGs を広く知っていただくための機会を創出していきます。

また、「みんなの広場」の設置については、「みんなの広場」をオープンスペースととらえ、都市公園等を活用して地域連携が図れる一助となれば良い事業と考えます。関係部局と情報共有を図りなが

ら実現可能性について調査していきます。

市民祭りなどのライブ配信を行います！



【船橋中】

船橋市の魅力である「船橋の伝統文化・行事」について、知らない人や参加したことがない人が多いです。そこで市の魅力を知ってもらうために、広報専用サイトを作り、市民祭りなどのライブ配信やお祭りなどで使えるクーポンの配布、デジタルサイネージ（※）を利用した広報を行うという提案でした。

※デジタルサイネージ・・・「電子看板」でディスプレイなどの電子的な機器を使用して情報を発信するシステムのことです。船橋駅と京成船橋駅を結ぶ歩道橋に設置してあります。

〈市の回答〉

船橋市の魅力を発信するため、ホームページ内に「魅力発信サイトFUNABASHI Style」を開設し、「見る」「遊ぶ」「食べる」「買う」などの情報を発信しています。このサイトでは、「ふなばし市民まつり」などのイベントも多く写真を掲載し取り上げています。また、歴史と伝統芸能をとりまとめたページ「歴史と伝統を受け継ぐ郷土芸能」では、伝統文化や行事などの紹介をしています。

また、J:COMチャンネルで放送している、市広報番組「ふなばしCITYNEWS」では、『特集 紡がれる歴史を歩む～子ども記者がレポート～』と題し市内の文化財の紹介、『3年ぶりリアル開催 ふなばしミュージックストリート』では、表舞台だけではなくボランティアの活動にもスポットを当てるなど、文化財や行事を定期的に取り上げています。なお、同番組は「船橋市公式YouTube」で見ることができ、前回の市民まつりを取り上げた令和元（2019）年7月15日（夏休みイベント情報として）と、8月15日（まつり会場の様子を振り返る特集）の放送回は、現在も見ることができます。ライブ配信についても、令和2・3年のふなばしミュージックストリートをYouTubeで配信しています。市の伝統行事や魅力がより多くの人に伝わるよう、市ホームページ、Twitter、Facebook、デジタルサイネージで積極的な情報発信に取り組んでいきます。



5.もっと環境によいまちに

太陽光パネルを設置します！



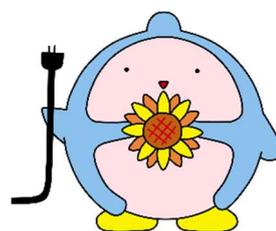
【大穴中、八木が谷中、習志野台中】

近年では、大きな災害が頻繁に起こっていたり、真夏日や猛暑日の日数が増えたり、今年初めて電力需給ひっ迫警報が発令しました。エネルギー問題は、重大な課題であり、SDGsの目標7でも「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」とされています。災害時でも活用でき、クリーンなエネルギー（再生可能エネルギー）である太陽光発電を設置するという提案でした。

〈市の回答〉

自分たちの学校がどれくらいの電気を使用しているのか事務職員の先生に聞いたり、高槻市や千葉県の事例を調べて、提案をいただきました。

船橋市では、令和4年と令和5年の2年間で、市内の小・中学校や公民館など、避難所等に指定している施設の中から、屋上に十分なスペースがある106施設（小学校54・中学校26・高校1・特別支援学校2・公民館18・老人福祉センター等4・市役所本庁舎）に、市と協定を締結した民間企業（TNクロス株式会社）が、太陽光パネルと蓄電池の設置を進めています。



地球温暖化防止キャラクター
「ふなわりくん」

太陽光パネルと蓄電池の設置について、高額な設置費用や定期的なメンテナンスが必要となることをデメリットとして挙げてくれていますが、市は、太陽光パネルで発電した電気を、民間企業から20年間買いとることで、設備導入にかかる費用を負担することなく、太陽光パネルを設置することができます。平常時は二酸化炭素の削減効果があり、災害時には蓄電池で避難所等の運営に必要な電源の一部を確保することが可能になります。

今後も避難所等のより良い環境作りに向けて、物資等の供給に関する協定の締結を進めていきます。

また、市民の皆さんが学校や市の施設に太陽光パネルが設置されていることを知らない人が多いということについては、とても残念に思います。令和3年までに、市内15校の小・中学校に太陽光パネルを設置していますが、今後発電可能となった学校から、太陽光パネルによる発電量を在校生・市民の皆さんに分かりやすく公表していきたいと考えています。

参考：設置施設の概要について

中学校名	電気量 (kwh/年)			電気自給率 (A/B)	発電開始 予定
	発電量 (見込み)	自家消費量 (見込み) ①	電気使用量 (R2 年度実績) ②		
八木が谷	139,412	92,259	189,224	約 49%	R5.4
大穴	185,882	113,536	216,238	約 53%	R6.4
習志野台	92,941	77,436	225,777	約 34%	R6.4

給食残飯を有効活用します！



【三田中】

三田中学校では、一日に給食の残飯が大量にでることから、残飯の有効活用として、コンポスト化やバイオマス発電（※）し、環境にやさしいまちづくりをする提案でした。

※コンポスト・・・コンポストとは、英語の c o m p o s t からきており、「堆肥」・「堆肥にする」という意味です。家庭からでる生ごみや落ち葉などの有機物を微生物の働きを活用して発酵・分解させ堆肥を作ることです。

バイオマス発電・・・バイオマスとは、動植物などから生まれた生物資源の総称です。バイオマス発電は、この生物資源を「直接燃焼」や「ガス化」するなどして発電する発電方法のことです。

〈市の回答〉

〔コンポスト〕

コンポストを導入することで生ごみの量が減ったり、肥料として再利用ができたり、生活・環境の改善を図る有効な手段と考えています。船橋市でも、一般家庭を対象に「生ごみ処理容器購入費助成」を行っています。

提案にありましたコンポスト化ですが、市内3校で導入をしたものの、その後撤去した経緯があります。設置時には1校当たり年間1トンを超える堆肥を産生しましたが、養分が濃すぎることから肥料には適さず、ほとんどがゴミとして処分されることになってしまいました。

本来、コンポストは、野菜の皮やへた、種等調理過程で廃棄される部分を処理するもので、調理後の油分や調味料が多く含まれた「食べ残し」の処理には適しません。

SDGsの観点からも「食べられるものを捨てないためにはどうしたらよいか」を一緒に考えていきましょう。

〔バイオマス発電〕

食べ物ではありませんが、市では西浦・高瀬2つの下水処理場で、汚れた水をきれいにする過程でできる「下水汚泥」を利用したバイオマス発電を実施しており、資源の有効利用を図っています。（令和3年度は、西浦下水処理場で、約213万kWh／年発電し、令和4年4月から発電を開始した高瀬下水処理場では、約495万kWh／年の発電を予定しています。これらは、約1,690世帯の年間電力に相当します。）



西浦下水処理場消化ガス発電事業

また、西浦下水処理場に隣接する西浦処理場では、し尿・浄化槽汚泥と併せて給食の残飯などを西浦下水処理場で行うバイオマス発電の原料にすることを検討を進めています。

他にも清掃工場では、ごみを焼却した時のエネルギーを利用した廃棄物発電を行っています。（令和3年度は、南部清掃工場で約5,910万kWh／年、北部清掃工場で約5,400万kWh／年

発電しています。これは、約2万7,100世帯の年間電力に相当します。)また、各清掃工場では、つくられた電力の一部を高瀬下水処理場に送り活用する取り組みをしています。令和5年10月からは、市役所本庁舎でも活用できるようにし、「エネルギーの地産地消」を図っていきます。

牛乳パックのストローレス化やリサイクルを進めます！

【高根台中】

海洋プラスチックが問題とされているなか、船橋市内の中学校から1日に15,000人分のストローが使用されており、焼却に1日に約15gの二酸化炭素が排出している。これらの課題を少しでも減らすために、牛乳パックのストローレス化や、リサイクルを行うという提案でした。



〈市の回答〉

ストローレス化については、全国的にも急速に広がりを見せていることから、船橋市としても、牛乳メーカーとともに取り組んでいく準備をしています。

また、牛乳パックのリサイクルについては、令和5年1月より提案校をモデル事業校として、取り組んでいます。先行的に実施する中で、食物アレルギーを持つ生徒への配慮や衛生面等の課題を整理し、将来的に学校でのリサイクルを進めていきたいと考えていきます。

ファストファッション問題意識を持たせます！



【葛飾中】

ファストファッション（※）では、服の大量廃棄が起こっており、廃棄にあたっては、有害物質が発生しているなど地球環境に悪影響を及ぼしている。このことから、もっと問題意識を持ってもらうために、駅などの公共施設などにポスターの掲示や小学生など年齢の低い子たちを対象にしたファストファッションに関する特別授業を行うという提案でした。

※ファストファッション・・・安い値段で低い品質で売られている服のこと

〈市の回答〉

物を大切に使うということは2R（リデュース：ごみの発生抑制、リユース：再使用）につながります。船橋市では2Rの取り組みを啓発するため、小学校の授業補助や夏休み親子見学会、環境フェアでのマイバック作りなど様々な活動を行うほか、子どもホームページやリサちゃんだよりプラスなど多様な媒体で情報を発信し、持続可能な循環型社会の実現を目指しています。衣類を大切に使うこと、長く使える衣類を選ぶことは、2Rの推進になりますので、事業者とも連携し周知や啓発の方法について検討していきます。



ごみ減量啓発キャラクター

「リユちゃん、リサちゃん、リデュくん」

中学生がファストファッションの特別授業を小学生に行うという提案は、これからの社会を生きていく子供たちが環境問題について考える良いきっかけになります。

小学生の時に年齢の近い中学生からの具体的な話を聞くことのできる特別授業は、普段と違う学びの場となり、新たな気づきや発見などを得ることができ、興味関心を持って授業に参加できるよい機会となると思います。

また、これからは、児童生徒が当事者意識を持つことが大切で、小さなことでも自分で考えて行動できるようにしてほしいと考えています。

まず、今回提案してくれた葛飾中学校の生徒が年齢の近い小学生に特別授業を行う取り組みや一緒に環境問題を考えることのできる機会をつくることのできないか考えていきます。

ゴミ箱の設置やゴミ拾いのイベントを行います！



【古和釜中、芝山中、坪井中】

船橋市内のごみを少なくし、町をきれいにすることや食品ロスを削減するために、千葉ジェッツふなばしや船えもんなど人気キャラクターをデザインしたゴミ箱の設置や、「南船橋駅～ららぽーと」、「船橋駅～船橋市役所」間でごみ拾いをを行い、景品には規格外の梨を使用した梨ジュースを提供するイベントを実施するという提案でした。

〈市の回答〉

ゴミ箱の設置は、捨てる方が便利になる一方で、家庭ごみや事業ごみが捨てられたり、ごみが増えたり、ポイ捨てを増やす原因にもなります。また、設置箇所により、通行する歩行者や車両の妨げとなる恐れもあることから、道路・公園やごみ収集ステーション等にごみ箱を設置することは課題が多くあります。

船橋市では、ごみのポイ捨てをなくすため、「クリーン船橋530の日」や「船橋をきれいにする日」(※)といった市内一斉清掃の実施、「環境美化モデル活動認定制度」により地域団体の清掃活動の支援などを行っているほか、駅や市役所周辺の清掃業務を実施しています。2つの清掃事業は、市内一円を対象としており、このような活動を通じて今後も街中にあるごみへの意識を高めていきます。ぜひ、お友達と一緒に参加してみてください。また、参加者に対する景品(ごみ袋等)の配布について、今後、検討します。

船橋産の梨を使った梨ジュースは既にあります。既存の商品は紙パックではなく、ビンジュースで小ロットの製造しかしていません。

規格外品も販売可能であることや、製造には多くの梨も必要となりますので、農業協同組合等の関係団体と実現可能か相談します。

※「クリーン船橋530の日」

毎年5月30日に最も近い日曜日に開催しているイベントです。市内全域の道端に散乱するごみを一掃することで、ごみのない住み良い地域「環境にやさしい街づくり」の啓発運動としています。

令和4年度は、約5,300人の方々の参加があり、市内全域で約15.5トンのごみが集まりました。



※「船橋をきれいにする日」

毎年11月の第3日曜日に開催しているイベントです。市内全域の道端に散乱するごみを一掃することで、船橋をきれいな街にすると共にポイ捨て防止の啓発運動としています。

令和4年度は、市内全域で約13.9トンのごみが集まりました。



「船橋をきれいにする日」の様子

実現した主な提案

平成26年度に始まった「こども未来会議室」では、皆さんの先輩たちが、皆さんと同じように船橋をよくするための提案を真剣に考えてくれました。その提案は、これまでにいくつも実現しています。

ボール遊びができる公園をつくります！

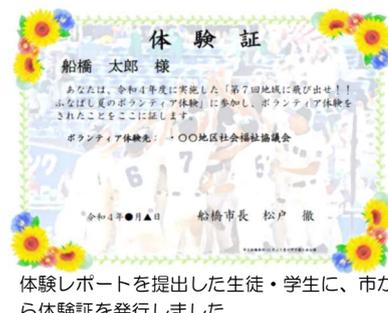
公園でボール遊びがしたい！という提案から、近所の方や関係部署と話し合って遊び方のルールを決めるなど検討を重ね、現在、市内33の公園等でボール遊びができるようになりました。

今後も、ボール遊びができる公園等の整備を進めていきます。



「あったかほっかほか船橋」プロジェクトを実施します！

時間のある夏休み期間中にボランティア体験をしたいけれど、参加方法がわからない！という提案から、ボランティアを募集している団体や福祉施設等とマッチング会を行い、気軽にボランティアに参加できる「あったかほっかほか船橋」プロジェクトを行っており、毎年たくさんの方が参加しています。



街灯を増やして街を明るくします！

街灯を増やして、より安全な街にしたい！という提案から、街灯を明るいLED照明に変更したり、暗い道があれば現地の調査を行い、必要かどうかを確認して街灯の設置を行う「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」を策定しました。

フォトコンテストを開催します！

船橋市のことをたくさんの人に知ってもらうために、フォトコンテストを開催したい！という提案から、「ふなばし魅力発見フォトコンテスト」を開催しました。写真を通じて船橋の魅力を発信することができ、入賞作品で作成したポストカードは大好評でした。



入賞作品は市ホームページからご覧いただけます。

中学校を今よりグローバルな場にします！

日本語に不安を抱えている外国人のクラスメイトが、学校生活での不安を解消したり、生徒同士のコミュニケーションツールとして、市立小学校、中学校及び特別支援学校の全学校に、74言語に対応した音声翻訳機（ポケットーク）を導入しました。



ポケットーク



伝統文化をPRします！

船橋市には歴史のある場所が多くあることから、伝統文化について知ることで、愛着をもってもらいたい！という提案から「ふなばし歴史・文化フォトラリー」を開催しました。

指定のスポットで写真を撮影するフォトラリーを通して、市内の歴史・文化財の展示施設を巡り、多くの皆さんにその魅力を感じてもらいました。



「梨フェスティバル」を開催します！

船橋のなしをもっとみんなに知ってもらいたい！という提案から、例年行われている「船橋市なし味自慢コンテスト」の名称を変更し、平成29年8月29日にらぽーとTOKYO-BAYで市制施行80周年記念「なしフェスティバル」が盛大に開催され、たくさんのお客様がいらっしゃいました！



千葉ジェッツふなばしとコラボして船橋を盛り上げます！

船橋産の梨を使った「船橋からのおもて梨まん」と、千葉ジェッツふなばしのキャプテン富樫勇樹選手の名前を盛り込み、船橋産のにんじんを使用した「勇樹ヤロットまん」を開発。令和3年3月24日のジェッツのホームゲームで300セットを限定販売し、大好評となりました！



令和3年度の
提案が実現!!

千葉ジェッツふなばしとコラボして船橋を盛り上げます！

「誰でも気軽に遊びに来られて、船橋の魅力を詰め込んだスポーツワールドを実現させたい」「ジェッツをもっと多くの人に知ってもらいたい」という提案から、千葉ジェッツふなばしが快諾!!

「#This is Funabashi～中学生が創る未来へのSmile😊～」を2日間限定で開催を予定しています。

令和5年3月25・26日、浜町中央公園にバスケットゴールを設置し、気軽にバスケットボールに触れてもらうほか、ジェッツのアンテナショップやフォトブース等を設置する予定です。

本番の様子



第1回



第2回



第3回



第4回



この事業に参加していただいた皆さん、素晴らしい提案をありがとうございました！

中学生ならではの斬新な提案ばかりで、新しい発見がたくさんありました！
皆さんが真剣に考えてくれた提案をもとに、船橋市がより住みやすいまちになるよう、これからも全力で取り組んでいきます！

こども未来会議室プロジェクト



参加してくれて
ありがとう！

令和四年度こども未来会議室報告書

編 集：こども未来会議室プロジェクト
事 務 局：船橋市役所 市長公室 市民の声を聞く課
発行年月日：令和5年3月